

# 3 多様な観客への 対応について

---



車椅子（左）とサポートカー（右）

## 1) 車いす利用者や障がい者が 展示を楽しむために

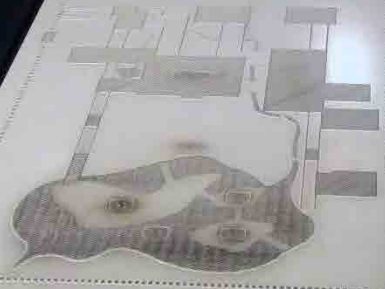
- ▼展示室新規リニューアルの際は、展示ケースやグラフィックパネルの高さを車いす利用を配慮している。
- ▼車いすや、サポートカーの貸出しを行っている。
- ▼視覚障がい者のための点字パネルの設置。
- ▼盲学校を対象とした触察を中心としたプログラムの実施。



東三桑殿

Sanjūsangenjō - Jikūji, the Architectural Style Adapted from the Layout of the Imperial Palace

三桑殿は徳川家康が建てたもので、平泉を模した二桑殿、町屋を模した三桑殿(町屋は約100メートル)と、その建物配置は、寝殿造の建築の型が、安土・桃山時代の三桑殿を生かして、安土・桃山時代の町屋を模して、町屋が安土・桃山時代の町屋と、敷地の南半分を占めた。



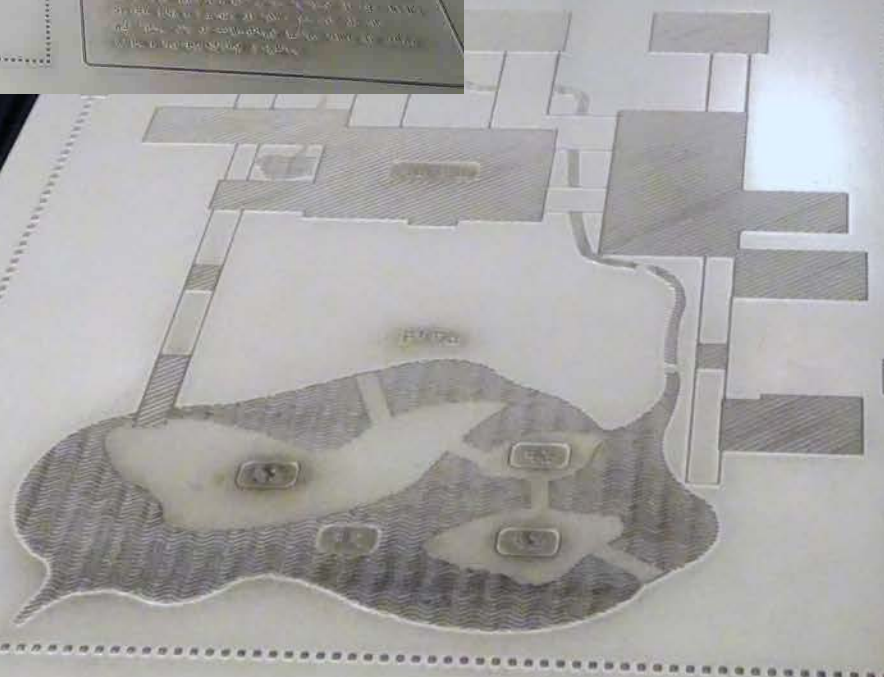
三桑殿の建築は、徳川家康が建てたもので、平泉を模した二桑殿、町屋を模した三桑殿(町屋は約100メートル)と、その建物配置は、寝殿造の建築の型が、安土・桃山時代の三桑殿を生かして、安土・桃山時代の町屋を模して、町屋が安土・桃山時代の町屋と、敷地の南半分を占めた。



点字パネル

Sanjūsangenjō - Jikūji, the Architectural Style Adapted from the Layout of the Imperial Palace

してきた  
町屋  
約100メ  
寝  
が、



三桑殿の建築は、徳川家康が建てたもので、平泉を模した二桑殿、町屋を模した三桑殿(町屋は約100メートル)と、その建物配置は、寝殿造の建築の型が、安土・桃山時代の三桑殿を生かして、安土・桃山時代の町屋を模して、町屋が安土・桃山時代の町屋と、敷地の南半分を占めた。

三桑殿の建築は、徳川家康が建てたもので、平泉を模した二桑殿、町屋を模した三桑殿(町屋は約100メートル)と、その建物配置は、寝殿造の建築の型が、安土・桃山時代の三桑殿を生かして、安土・桃山時代の町屋を模して、町屋が安土・桃山時代の町屋と、敷地の南半分を占めた。

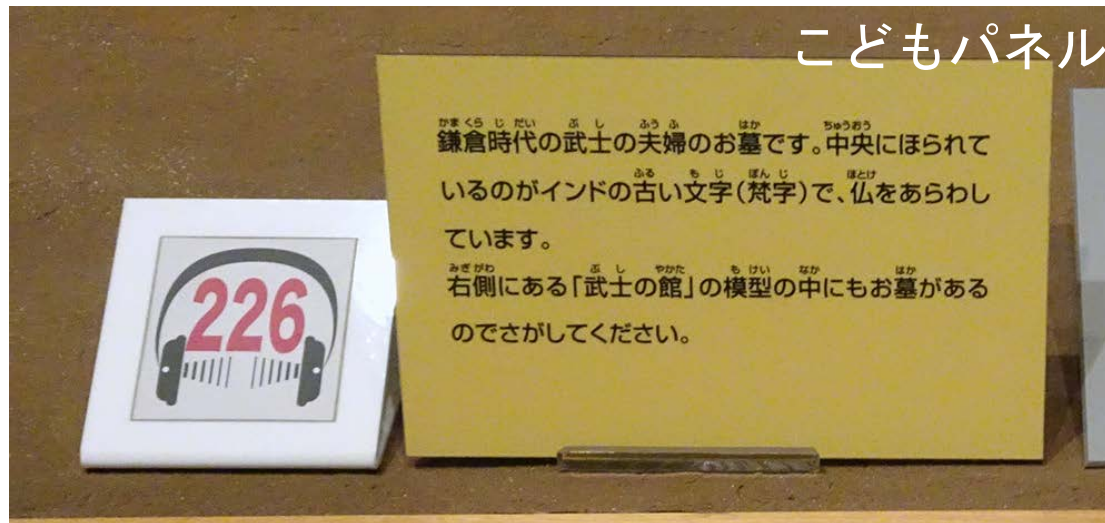




こどもパネル全景



こどもパネル



## 2) 小・中学生が展示 を楽しむために

▼子ども向けの展示解説パネルの  
設置

⇒子どもに限らず大人にも好評

▼未来を担うこどもたちにこそ、  
博物館リテラシーの獲得と自国の  
歴史（一国史ではなく）・地域  
（まずは学区の歴史）を学ぶこと  
が、実は「国際人」として成長す  
るための基礎要件

▼ボランティアの対応による近世の学びを体験することのできる「寺子屋れきはく」および体験を通じて日本の歴史や文化を学ぶことのできる「たいけんれきはく」の提供

▼夏休みを中心として展示資料や展示テーマに興味関心をいざなう体験プログラムの実施  
⇒次世代を担う子どもたちへの対応

▼現場の教師を対象とした「先生のための歴博活用講座」や教師を研究員として受け入れ、歴博を活用した授業実践を計画・実施・評価する博学連携研究員制度の実施  
⇒**教師を巻き込んだ博物館利活用の促進**



たいけんれきはく

